



ハヤブサやGSX-R1000はもちろん、'15年から復帰予定のMotoGPマシンなども開発テストされる竜洋テストコースで、ライディングスクールは開催された。大きく2クラスに分けられ、レーシングスーツの参加者はほぼ半数、そのほかは一般的なライディングウェアだった

甘いマスクとスパイシーなしごき?! 世界耐久チャンピオンから学べるスペシャルスクール!!

スズキ北川圭一 ライディングスクール in 竜洋

期日：2014年6月15日
会場：スズキ竜洋テストコース
主催：スズキ北川圭一ライディングスクール事務局

R/R EVENT
Report 01

世界耐久選手権2年連続チャンピオンという輝かしい経歴を持つ北川圭一氏によるライディングスクールが、市販車はもちろんMotoGPマシンなどのテストも行われるスズキの竜洋テストコースで開催されている。スキルアップにはこの上ないステージへ、バイクジャーナリスト小松男が潜入取材を試みた。

北川圭一さんと言えば、日本人初の世界耐久選手権チャンピオンであり、しかもそれを'05/'06年の2年連続で成し遂げた、世界に誇るレジェンドライダー。その北川さんが主宰するライディングスクールが、スズキ本社のある竜洋テストコースで開かれるようになったのは、'09年のこと。年々参加者は増加し、今ではスクールの予約を開始すればすぐに定員に達してしまうほど、人気の高いスクールになった。今回は実際に参加し、その人気の秘密を探ることにした。

まず参加条件。2500cc以上のスズキのミッション車などなたでも。「スズキのバイクじゃないとダメなの!」と思った方、ご安心を。GS R250、グラディウス400、GS R750、バンディット1250のレンタルバイクも用意されていて、実際、そんなレンタル車の参加者も多い。レンタル料はガソリン代込みで4300〜5400円だか

ひたすらに走り回れば自然と身に着く不思議

世界耐久チャンピオンの北川さんの脇を固める講師陣も、現役の全日本ロードや8耐ライダーやなど贅沢なメンバーが揃えられている



「ダン君は特別なシゴキのプログラムね」と言われているの図。お手柔らかに、かつては某誌でバンディットの連載やった仲間じゃないですか

ら、結構リーズナブルと言える。さて、朝のブリーフィングを終えてスクール開始……の前に入念な準備運動。しっかりと各々が動くようにほぐす。それにしてもこの日は暑かった。約半数の参加者がレーシングスーツだったが、バイクを走らせている最中はまだしも、停止していると吹き出す汗、汗、アセ。しかし、いつでも飲める水分補給用の飲料が用意されていること、カリキュラムの合間や頻りに休憩が挟まれるので本当に助かった。

慣熟走行を終え、まずはパイロンを使つての8の字走行。大きく入って小さく回る。そんなの簡単、と思つてもなかなかかかどつて、思うように小さく回ることができない。同じ組で走っている女性の方が乗れる。雰囲気……くそ。

お次は竜洋名物と呼ばれるとても長い直線を使つてのスラローム。軽快なスロットルワークを駆使しながら、リズムよくパイロンをパス。大型免許を教習所で取得する際にも必修科目であるが、なにしろ笑えるほ



SS系女性ライダーの参加者の姿もちらほら。皆さん、ほぼリピーターでとても上手。負けてられない。カッコ悪いところ見せたくない!



最初のカリキュラムはパイロン8の字。身体がガチガチで「目線はこっち! すぐ切りかえす!! 下半身をホールド!!!」と叱られっぱなし。ホント、朝に弱いんですよ



朝イチは身体も動きにくく、怪我もしやすい。入念なストレッチはセーフティライドへの第一歩。それにしても自分の身体の硬さに嫌気がさします。運動しなくちゃなあ……



昼食休憩後の座学。「ライダーのための心理学」がテーマで、すべての人が防げない錯覚や、思い込みによるミスなどのタメになる話



急制動のカリキュラム。ブレーキとタイヤの限界を知っておくことも重要。コーススラロームなど、ほかのステージでしっかりとブレーキングできるようになるのだ



スクール名物のひとつ、ロングパイロンスラローム。等間隔に並べられたパイロンをスラロームでパスするだけなのに奥が深い。スロットルワークと全身を使ってリズムよく



コースパイロンのお手本をする講師の走り。それを見て「そんなのム〜リ〜」という顔をしているボク。でも何度も繰り返し練習するうちに、徐々にできるようになっていくから不思議だ



閉校式の最後には、お待ちかねのじゃんけん大会が行われた。協力企業からの協賛品は、なかなかいいモノが揃えられていたんです



Uターンを練習。得意なつもりだけど、思っていたよりもコース幅が狭い。バンディットはハンドルが切れないSS系と比べればとても楽

**ススキ北川圭一
ライディングスクール in 竜洋
開催スケジュール**

2014	10/13 (月)	9:00 ~ 16:30
	11/23 (日)	9:00 ~ 16:30
2015	3/22 (日)	9:00 ~ 16:30

募集をスタートするとすぐに定員に到達してしまう、という人気の高いスクールだけれど、それだけに参加する価値があるというもの。10月13日開催分は8月18日に受け付け開始予定。詳しくはWEBをチェック。www.k1-kitagawa.com/index.html



アウトリガー装着車を初体験。補助輪よりも先に膝を擦っており、安全マージンが高いと女性ライダーに指摘されたけれど、なぜか恥ずかしい



世界耐久チャンピオンの北川さんから、直接ライディングの指南を受けるチャンスを持つなんて、実はとても贅沢なことなんです。疑問や質問は率直に、ドンドン投げかけていきましょう

朝9時の開校式からはじまり17時までのカリキュラム。本当日一日中たっぶりと走ることができた。リピーターの参加者と話していたら「年に1、2度このスクールに来ることで、自分のライディングをリセットすることができると言っていた。北川圭一ライディングスクールは、バイクを安全に、なおかつ操る喜びを習得できる場なのだ。

午後はお待ちかね、「アウトリガー」の試乗。転倒しないように、左右にアームがつけられたバンディットを使い、バンク角の限界を体験するというもの。一気にフルバンクまで倒しても転ばない。ちょっと重いくちも思っていたよりも乗りやすい。これを体験するだけでも価値があるだろう。急制動やUターンのレッスンをを行い、再度コースパイロンを練習したのち、高速テストコースを使用したまとめ。タイトなコースで体得したテクニックは、コースが広くなっても、基本は同じ。それを分かっていけるので、結果的にセーフティライドにつながる。

どその距離が長い。トルクを活かしてリズムカルに。そのままコースパイロンセクションへとステージは続く。こちらはパイロンをつなげて作られたコースを通過するもので、白バイ大会やジムカーナをイメージしてもらえばいい。インストラクターがGSX-R1000で見せてくれるお手本の走りはかなり強烈で、ちょっとマネできないレベルだけれど、何度も反復走行を重ねるうちにリズムが掴める。これが重要で、繰り返すことで自然と習得しているのである。お昼の休憩時間には、ライダーのための心理学講座を開催。走るだけではないメンタル面からも安全を意識させる、そんな座学。